

1 単元 世界の諸地域（アフリカ州）

2 目標

- アフリカ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究しようとしている。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- アフリカ州の特色ある地理的事象について、構造図作りを通して、様々な地理的事象の背景や要因の関連を解釈して記述できる。
(社会的な思考・判断・表現)
- アフリカ州の様々な地理的事象の背景や要因を解釈するために、因果関係図の作成に必要な情報を収集し、有用な情報を適切に選択することができる。
(資料活用の技能)
- アフリカ州の地域的特色について理解し、知識として身に付けることができる。
(社会的事象についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材について

本単元は、中学校学習指導要領地理的分野内容（1）ウ世界の諸地域をうけて設定した。世界の諸地域の学習について中学校学習指導要領では、「各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解させる。」と示している。解説では、取り上げる地理的事象について、「それぞれの州において広範に見られる特色ある地理的事象を取り上げることが大切である。」とし、「中学校第1学年の生徒の生活と結び付く」ものと示している。そこで、アフリカ州の学習では、生徒にとって募金を呼びかけるポスターなどでイメージしやすく、アフリカ州の多くの地域で問題となっていることから、「飢餓」を特色ある地理的事象として取り上げる。

(2) 生徒について（平成28年10月6日実施）

本学級の生徒に、中学校第1学年地理的分野「世界の諸地域（ヨーロッパ州）」の学習において、地域的特色を理解する力に関する実態調査を行った。ヨーロッパ州の地域的特色を形成する「小規模国家」や「キリスト教の分布」などの地理的事象の背景や要因を解釈して説明できた生徒が、24人であった。しかし、二つ以上の地理的事象の背景や要因を解釈して説明できた生徒は、12人に留まった。また、ヨーロッパ州の特色ある地理的事象である「国家間の統合」について、「大国との経済競争」と「小規模国家」や、「キリスト教の分布」と「歴史的背景」など背景や要因の関連を解釈して説明できた生徒が、22人であった。しかし、二つ以上の地理的事象の背景や要因の関連を解釈して説明できた生徒は、9人に留まった。これらのことから、地理的事象の背景や要因を解釈することができる力や、それを基に、様々な地理的事象の背景や要因の関連を解釈することができる力に課題があることが明らかになった。

(3) 指導について

本単元の指導では、「飢餓」の背景や要因を追究する学習活動を通して、アフリカ州の地域的特色を理解する力を育てていく。まず、因果関係図作りを取り入れた、アフリカ州の様々な地理的事象について条件と結果や原因と結果の関係から調べ説明する活動により、地理的事象の背景や要因を解釈することができるようにする。そして、解釈した地理的事象の背景や要因を基に、構造図作りを取り入れた、再構成し説明する活動により、様々な地理的事象の背景や要因の関連を解釈することができようにする。

4 単元の指導

(1) 評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
アフリカ州の地域的特色に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	様々なアフリカ州の地理的事象の背景や要因の関連を解釈し、説明している。	アフリカ州の様々な地理的事象の背景や要因を解釈するために、因果関係図作成に必要な情報を収集し、有用な情報を適切に選択している。	アフリカ州の地域的特色を理解し、知識として身に付けている。

(2) 単元計画 (6時間扱い)

過程	時	学習活動及び内容	指導上の留意点 (◎評価)
課題把握	1	<p>アフリカ州には、どこに、どのようなものが、どのように広がっているのだろうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 アフリカの多様な気候と植生を確認する。 2 アフリカの地形を確認する。 3 熱帯付近の作物を確認する。 4 モノカルチャー経済の輸出品目を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地の人々の生活と環境の単元を振り返らせ、アフリカ州の気候と植生の分布を想起できるようにする。 ・アフリカ州には標高が高い地域が多いことやサハラ砂漠の南にサヘルと呼ばれる地域が帯状に広がっていることを理解できるようにする。 ・1914年当時のアフリカは、ほとんどの国がヨーロッパの植民地になっていたことを理解できるようにする。 ・赤道付近では、商品作物を中心に栽培していることを理解できるようにする。 ・どのような輸出品目がモノカルチャー経済を成立させているかに気付くことができるようにする。 <p>◎アフリカ州の地理的事象について基礎的・基本的な知識を習得している。 【ワークシート 知識・理解】</p>
	2	<p>アフリカ州の多くの地域にみられる飢餓は、どのようなものだろうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 動画を見て気付いたことを挙げる。 ・ACジャパン公共広告機構作品 WFP「Hope」,「Hopeを消さないで」 2 ハンガーマップを見て飢餓の状況を知る。 3 学習課題を設定する。 <p>なぜ、アフリカ州の多くの地域で飢餓が起きているのだろうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4 予想を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画を見て、気が付いたものをすべて挙げさせ、学習活動全体への関心を高められるようにする。 ・動画やハンガーマップから、アフリカの抱える問題の一つとして飢餓があり、アフリカ州に広範に見られるもので、特色ある地理的事象であることに気付けるようにする。 ・前時の学習などを振り返らせ、基礎的・基本的な知識の中から飢餓と関連性がありそうな地理的事象を考えさせるような発問をすることで、学習課題を立てたり、予想したりする活動に結び付けられるようにする。 <p>◎アフリカ州の飢餓に関心を持ち、意欲的に学習課題に対して、予想を立てている。 【観察、発表 関心・意欲・態度】</p>
課題追究	3	<p>なぜ、アフリカ州の多くの地域で飢餓が起きているのだろうか。～原因を追究しよう～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学習課題を確認する。 2 因果関係図作りについて確認する。 3 飢餓の原因として予想した地理的事象に関する資料を集め、有用な情報を選択し、因果関係図作りを行う。 4 原因として挙げた地理的事象の背景や要因を解釈した結果を自分の言葉で記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・因果関係図の作り方を、具体的に例示し、誰もが、何をどのように表せばよいのかを理解できるようにする。 ・因果関係を見だしにくいときは、タブレットPCを使って調べさせる。その際に検索に用いるべき語句を助言し、円滑に追究ができるようにする。 ・予想として挙げた地理的事象が存在する条件や原因を因果関係図に表すことで、解釈ができるようにする。 <p>◎情報を集め選択し、因果関係図を作成し、飢餓を形成する地理的事象の背景や要因について解釈して記述している。 【因果関係図 技能、思考・判断・表現】</p>
	4	<p>なぜ、アフリカ州の多くの地域で飢餓が起きているのだろうか。～原因について話し合おう～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学習課題を確認する。 2 テーマごとにグループになり情報を共有する。 3 ジグソー法を用いた話し合い活動について確認をする。 4 因果関係図を基に説明する。 5 自分のグループに戻り、情報を整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の仕方を明確にし、活発な話し合いができるようにする。 ・原因としてあげた地理的事象を「自然環境に関すること」「紛争に関すること」「食料が不足すること」に分類しグループを作ることで、情報共有をしやすくする。 ・ジグソー法を用いて話し合うことの意義や目的を確認し、本時の活動に向けての意欲を高められるようにする。 ・因果関係図を示しながら話し合うことで、互いの考えを視覚的に理解することができるようにする。 <p>◎話し合いを通して、飢餓を形成する様々な地理的事象の背景や要因に関心を持ち、意欲的に追究している。 【発言 関心・意欲・態度】</p>
	5	<p>なぜ、アフリカ州の多くの地域で飢餓が起きているのだろうか。～原因を明らかにしよう～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学習課題を確認する。 2 構造図作りについて確認する。 3 他のグループの因果関係図を比較し、関連する項目を探し、自分のグループの因果関係図に組み込み構造図を作成する。 4 構造図を見て、話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構造図の表し方を説明し、活動が円滑に進められるようにする。 ・関係性が見いだせなくて活動が滞っているグループに対しては、因果関係図を見直したり、因果関係の一部を調べ直したりするように指示を出すことで、活動を促す。 ・完成した構造図を見る視点を明確にし、飢餓についてまとめる活動につなげることができるようにする。 <p>◎飢餓について、様々な地理的事象の背景や要因の関連を話し合い、再構成したことを構造図にまとめている。 【発言、構造図 思考・判断・表現】</p>
課題解決	6	<p>なぜ、アフリカ州の多くの地域で飢餓が起きているのだろうか。～レポートにまとめてみよう～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学習課題を確認する。 2 アフリカ州の地域的特色について、映像資料で振り返る。 ・NHK for School「10min.ボックス・アフリカ州」 3 学習課題について、記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構造図を文章化する際に、記入例を示すことで、誰もがレポートを作成できるようにする。 ・活動が滞る生徒には、構造図を説明させ、文章化するための補助を行う。 <p>◎飢餓について、様々な地理的事象の背景や要因の関連を解釈し、結果を記述している。 【ノート 知識・理解】</p>

5 本時の指導

(1) 目標

飢餓について、様々な地理的事象の背景や要因の関連を話し合い、再構成したことを構造図にまとめることができる。

(2) 準備・資料

前時までに作成した因果関係図、電子黒板、構造図作成用の台紙、地図帳、教科書

(3) 展開

学習活動及び内容	指導上の留意点 (◎評価)
<p>1 前時の話し合い活動を振り返る。</p> <p>(1) 様々な地理的事象についての因果関係図を見直す。</p> <p>(2) 様々な地理的事象についての背景や要因の説明を振り返る。</p> <div data-bbox="300 658 654 922"> <p>因果関係図</p> </div> <p>2 学習課題を確認する。</p> <div data-bbox="225 958 778 1061"> <p>なぜ、アフリカ州の多くの地域で飢餓が起きているのだろうか。～原因を明らかにしよう～</p> </div> <p>3 グループになり構造図を作成する。</p> <p>(1) 各グループで作成した因果関係図を見比べ、共通する項目を探し並べ替える。</p> <p>(2) 共通する項目の前後関係を見て、因果関係が成立するかを確認し矢印で結ぶ。</p> <div data-bbox="225 1234 778 1402"> <p>【予想される生徒の活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 因果関係図を作成した地理的事象と特色ある地理的事象である「飢餓」とを結び付ける新たな項目の発見 (再構成Ⅰ) 「飢餓」の背景や要因に当たる新たな地理的事象の発見 (再構成Ⅱ) 因果関係図を補充するための新たな項目の発見 (再構成Ⅲ) </div> <p>4 構造図を見て、グループ内で話し合い、本時の振り返りを行う。</p>	<p>◎ 前時の振り返りを行い、様々な地理的事象の背景や要因を見直すことで、既習知識の確認を図る。</p> <p>◎ 因果関係図を見直させる際に、共通する項目を発見させることで、関連があることに気付かせ、本時の活動への動機付けを行う。</p> <p>◎ 前時の活動で、解釈に不十分な箇所がある生徒には、グループ内で確認するように指示する。</p> <p>◎ 学習課題を確認する際には、本時の学習の流れも併せて確認する。</p> <p>◎ 「飢餓」は、様々な地理的事象の背景や要因が相互に影響を及ぼしながら成り立っていることについて、本時の学習過程を通して明らかにすることを、電子黒板上に示し、全ての生徒が理解できるようにする。</p> <p>◎ 構造図の作成の説明では、因果関係図を構成する各項目が書かれた付箋紙を並べ替える作業について、電子黒板で例示し、具体的に作業手順を把握できるようにする。</p> <p>◎ 構造図を読み合った際に、因果関係が成立しない点が発見された場合、補助資料などを提示し、関連性が見いだせるようにする。</p> <div data-bbox="879 1395 1302 1711"> <p>構造図</p> </div>
<p>5 次時の活動を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習課題について、レポートの記入例を見る。 <div data-bbox="300 1742 654 2007"> <p>記入例</p> </div>	<p>◎ 飢餓について、様々な地理的事象の背景や要因の関連を話し合い、再構成したことを構造図にまとめている。</p> <p>【発言、構造図 思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 次時のレポート作成について、苦手意識を持つ生徒が多いため、記入例を示し、本時の構造図をどのようにまとめれば良いのかについて、見通しをもたせる。